

# 宮私幼だより

第159号 令和6年3月31日

石巻みずほ幼稚園



## 巻頭言

理事長 鎌田文恵

令和6年1月1日に発生した令和6年能登半島地震により、犠牲となられた方々に心よりお悔やみ申し上げますとともに、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。一日も早い復旧・復興を衷心よりお祈り申し上げます。

あらためて令和5年度を振り返ってみますと、既に十数年前から続く少子化という国難に社会がようやく危機感と関心を持ち、強く意識するようになり始めたものの、コロナ禍の出生率低下も重なり、当連合会としては運営の柱でもある園児数が減少していることから、今後の運営規模の縮小を含めた大きな見直しを早急に行う時期に差し掛かっていると実感しています。実際に各委員会においては、経費縮小を意識しながら令和6年度の計画を立てるなどする一方で、もう一つの大きな柱となっている教職員の退職金に関わる事務については、処理件数が年々増大していることにより、事務効率化などについても抜本的な見直しが必要な状況下にあります。

厳しい現実を見つめれば先の見えない話題が続く中にはあるように思いますが、だからこそ、地域の子どもの喜びや明るい日常を守り、将来に向かって夢や希望を持ち続け、心を育てる質の高い幼児教育を守り、意義を社会に向けて訴え続けることが大切だと感じています。

ご承知のとおり、令和元年10月から「子ども子育て支援法の一部を改正する法律」が施行され、幼児教育・保育料が無償化されました。無償化財源は消費税から予算が計上されており、国では幼児教育がもたらす小学校以降の子どもの発達や学習、生活の大規模縦断調査（年長児から小学校4年生まで）を抽出実施し、宮城県内でも実施されることとなっております。なお、令和6年は年長児（園長・保育者・保護者対象）、令和7年から小学校の調査となるようです。今後の幼児教育・保育政策のエビデンスとなりますので、依頼がありましたらご協力をよろしくお願い致します。

最後になりますが、10月18日に第38回東北地区私立幼稚園・認定こども園教員研修大会＜宮城大会＞が開催されます。公開園の教職員の皆様には多大なご負担をおかけいたしますが、宮私幼一丸となって取り組んでまいりますので、多くの先生方のご参加をお願い申し上げます。



令和5年度 宮私幼理事会の概要 (10月～3月)

【令和5年度 第5回理事会】

日時 令和5年10月16日(月)午後2時～

場所 宮私幼会議室

議事

- (1)令和5年度宮城県私立幼稚園・認定こども園教育振興大会、第50回宮城県私立幼稚園・認定こども園PTA研修大会について
- (2)設置者・園長研修会について
- (3)施設別部会合同研修会開催について
- (4)定款及び地区会組織の見直しについて
- (5)特別委員会の設置及び人選について(会費の見直しについて)
- (6)その他

報告事項

- (1)令和6年度第38回東北地区私立幼稚園教員研修大会<宮城大会>の進捗状況について
- (2)就職合同説明会について

その他

- (1)令和5年度第2回総会の開催日について:令和6年2月29日(木)13時30分～
- (2)令和6年度第1回総会の開催日について:令和6年5月30日(木)13時30分～

【令和5年度 第6回理事会】

日時 令和5年12月1日(金)午後1時30分～

場所 宮私幼会議室

議事

- (1)特別委員会の設置及び人選並びに議題及び検討結果について
- (2)無料職業紹介事業のフロー、求人申込兼労働条件明示書等の様式の作成及びHPへの掲載について
- (3)8月～11月の各委員会等事業報告について
- (4)地区会運営要綱第5条の補助の在り方について
- (5)常任理事会の職務(所管業務)について

報告事項

- (1)加盟園(会費未納園)の対応状況について
- (2)全私幼連団体長会幼児教育システム「ゆたかなまナビ」～令和6年度からの新システムについて

【令和5年度 第7回理事会】

日時 令和6年2月19日(月)午後2時15分～

場所 宮私幼会議室

議事

- (1)令和5年度第2回定時総会議案書について
- (2)第2回定時総会の議長、議事録署名人及び司会者について

報告事項

- (1)定時総会における「行政報告」について(宮城県私学・公益法人課職員)
- (2)宮城県総合教育センターとの「令和6年度の研修事業に係る連携及び協力に関する覚書」について
- (3)宮城県知事及び議長陳情について(2月19日午後1時15分～)
- (4)令和5年度宮私幼教育研究発表大会について(3月26日午前10時～ トークネットホール仙台)
- (5)幼保連携型認定こども園ゆりかご認定こども園の退会について(令和5年12月31日退会)
- (6)就職内定学生実習期間の傷害保険の申し込み状況について
- (7)能登半島地震の義援金について(2月16日現在:40件 1,839,953円)

その他

<今後の日程について>

- 2/29(木)13:30～  
第2回定時総会(東京エレクトロンホール宮城601会議室)
- 3/26(木)9:50～  
宮私幼教育研究発表大会(トークネットホール[仙台市民会館])
- 5/30(木)13:30～  
令和6年度 第1回定時総会(東京エレクトロンホール宮城601会議室)

事務局だより

令和5年度 下半期 (10月～3月)

○関係機関団体

- 10/24 県新採研(宮私幼連携・協力)(県総合教育センター)
- 10/26 教育振興審議会(県行政庁舎)
- 1/17 県中堅研(宮私幼連携・協力)(県総合教育センター)

○全日私幼連

- 10/6 団体会長会(オンライン)
- 10/20～21 東北地区私立幼稚園教員研修大会<福島大会>
- 10/23～24 設置者・園長全国研修大会<山形大会>[ハイブリッド形式]
- 11/17 東北地区経営研究担当者連絡協議会、政策総務担当者連絡協議会(秋田)
- 12/15 団体会長会・理事会合同会議(東京)
- 1/16 臨時東北地区会(オンライン)
- 1/26 令和5年度全国研究研修担当者会議(東京)
- 2/5 PTA連合会全国大会(東京)
- 2/16 第2回東北地区会・団体会長会議及び事務局長会議(秋田)
- 2/19 団体会長会・理事会合同会議(東京)
- 2/21 政令指定都市特別委員会研修会(東京)
- 2/26 後継者育成研修会(東京)
- 2/28 団体会長会・理事会合同会議(東京)

○宮私幼のあゆみ

- 10/12 総務・給付委員会
- 10/13 幼稚園部会・認定こども園部会・保育園部会合同会議
- 10/16 理事会
- 10/27 研究委員会(仙私幼会議室)
- 11/2 総務・給付委員会
- 11/15 設置者・園長研修会[旭ヶ丘市民センター]
- 11/20 特別委員会(宮私幼会費の検討)
- 11/25～29 宮城県造形教育作品展(せんだいメディアテーク)
- 12/1 宮城県私立幼稚園・認定こども園教育振興大会・PTA研修大会(東京エレクトロンホール宮城)
- 12/1 理事会
- 12/6 幼稚園部会・認定こども園部会・保育園部会合同会議
- 12/7 研究委員会
- 12/13 受賞記念祝賀会(江陽グランドホテル)
- 12/14 総務・給付委員会
- 12/20 地区研修担当者連絡会、教育研究発表大会分科会発表者事前打合せ(リモート)
- 12/21 経営委員会
- 1/11 総務・給付委員会
- 1/18 研究委員会
- 1/29 幼稚園・認定こども園・保育園部会合同会議
- 2/7 知事陳情打合せ
- 2/15 常任理事会&総務・給付委員会合同会議
- 2/19 知事・議長陳情
- 2/19 理事会
- 2/27 研究委員会、教育研究発表大会担当者事前打合せ(仙私幼会議室)
- 2/29 第2回定時総会(東京エレクトロンホール宮城)
- 3/7 研究委員会
- 3/14 総務・給付委員会
- 3/26 教育研究発表大会(トークネットホール仙台)

○慶弔

- 10/8 木村 徹氏(向山こども園 前園長)ご逝去
- 10/14 矢本はなぶさ幼稚園 創立40周年記念式典
- 10/18 高橋 正一氏(くり幼稚園・くりっこ保育園 理事長)ご逝去
- 11/16 三塚 薫氏(緑ヶ丘第二幼稚園 理事長・園長)令和5年教育功績者表彰
- 11/17 岩沼南こぼと幼稚園 50周年ありがとうございます会
- 11/28 三塚 百合子氏(緑ヶ丘第二幼稚園 前理事長)ご逝去
- 2/13 木村 範子氏(現・認定こども園若竹幼稚園 創設者)ご逝去
- 3/29 佐々木 正芳氏(エコールノワール幼稚園 設置者)ご逝去

# 令和5年度 宮城県私立幼稚園・認定こども園 教育振興大会 第50回 宮城県私立幼稚園・認定こども園 PTA研修大会

日時 令和5年12月1日(金)午前10時30分～12時30分 会場 東京エレクトロンホール宮城



大会スローガンを「次代を担う子どものために」と題して宮私幼とPTA連合会共催で行われました。

## 第1部 振興大会

第1部が始まる前に、お人形社第二幼稚園 横澤行夫先生から全日本私立幼稚園連合会選定幼稚園母の会の歌「愛の花輪」の歴史等のご説明があり場内に曲が流れました。



第1部の司会は宮私幼PTA副会長・宮城県議会議員 渡辺勝幸氏が担当されました。宮私幼根来興宣副理事長の開式の言葉で始まり、宮私幼鎌田文恵理事長、宮私幼PTA会長・宮城県議会議員 佐々木幸士氏からはPTA研修大会50年の歴史、物価高騰、エネルギー対策等についてお話をいただきました。祝辞を宮城県知事代理として宮城県副知事 伊藤哲也様、宮城県議会議長代理として宮城県議会副議長 本木忠一様からいただきました。引き続き、来賓紹介を宮私幼 清野英俊常任理事が担当し、東松島市長 渥美巖様よりのメッセージを読み上げました。大会宣言は宮私幼庄子拓彦理事・成田中央幼稚園PTA会長 佐藤由理様を読み上げました。閉式の言葉を宮私幼 庄司昭博副理事長が述べて第1部を終了いたしました。



## 大会宣言

- 一、子どもたちの教育の原点が、家庭にあることを再認識し、家庭・地域・園が協力し合って絆を深め、子どもにとって最も安心でき、共に学び合える場になるよう努めます。
- 一、子どもたちの健康と安心・安全を確保するとともに、幼児教育の質の向上を図るため、私立幼稚園・認定こども園への公的助成の拡充、並びに教職員の待遇改善に努めます。
- 一、かけがえのない存在である一人一人の子どもたちがさらに輝くよう、お互いを思いやる寛容の心を持ちながら、日々の生活や園の中で、安心して過ごすことができるよう努めます。

## 第2部 研修大会

### 【講演・講師】

子どもたちの自発的な活動を見守り、支えながら育てよう  
香曾我部 琢 先生（宮城教育大学教授）

第2部司会はドリーム幼稚園PTA会長 大久保加奈様、講師紹介を宮私幼PTA副会長・宮城県議会議員 渡辺勝幸様が担当されました。（以下、講演要旨）

子どもが自分の知識や能力を「自分で獲得してきたもの」という感覚を持つことが重要です。「子どもが自分で生きてきたという感覚」について「あなたの意思を尊重していますよ」という姿勢を示しつつ、親が意図する方向性に「子どもの意思」が向かうように状況や環境を構成する（状況論）と子どもが意思を持つための長期的な戦略（ストラテジー）を持つことが重要!! と話されました。

閉会の言葉を宮私幼PTA副会長・宮城県議会議員 伏谷修一氏が述べて第2部を終了いたしました。多数のご来賓を賜り盛会のうち、次代を担う子どもたちの為に家庭と地域社会、行政、幼稚園・認定こども園等が強く手を携えて進めようと決意のできる大会でした。



令和5年 宮城県教育功績者表彰受賞祝賀会

三塚 薫先生 おめでとうございます

日時 令和5年12月13日(水) 場所 江陽グランドホテル

宮城県教育功績者表彰を受賞された緑ヶ丘第二幼稚園園長 三塚薫先生の受賞記念祝賀会が開催されました。発起人代表の根来興宣先生の開会の挨拶で始まり、鎌田文恵理事長より祝辞をいただき、三塚先生の幼稚園で実習された塩釜中央幼稚園の千坂多恵先生から花束が贈呈されました。続いて三塚先生から、「11月末に母が亡くなり、祝賀会を延期した方がいいのではないかと、鎌田理事長からご配慮いただきましたが、皆さんにご迷惑をおかけするのを母は望まないと思い、予定通り開催していただきました。今回の受賞を母は喜び、やっと親孝行ができたかと思えます」とのご挨拶があり、横澤行夫先生の音頭で乾杯をし、祝宴に入りました。小野寺靖子先生を始め、所縁のある先生方から、母上である百合子先生のエピソード等を交えてのスピーチがあり、終始、和やかな歓談のうちにお開きとなりました。



宮城県知事・宮城県議会議長への陳情

2月19日(月)、村井嘉浩宮城県知事と高橋伸二宮城県議会議長を表敬訪問し、それぞれに要望書を手渡しました。陳情には、宮私幼より鎌田文恵理事長他5名、宮私幼P T Aより佐々木幸士会長他7名と4年ぶりに園児4名が同行し、和やかな雰囲気で行われました。要望について、知事より前向きのお答えをいただきました。

**要望1:** 子どもたち一人一人の健やかな成長を見据え、特別な配慮を必要とする幼児の増加に伴うきめ細やかな支援を要望します。(⇒国基準のほか県単独補助を検討する。)

**要望2:** 私立幼稚園・認定こども園における教員の人材育成及び教員等の処遇改善を要望します。(⇒県幼児教育センターを活用する。)

**要望3:** 施設類型にかかわらず、すべての市町村において格差のない取組を進めることを要望します。(⇒(要望2も含めて)人材育成については、県幼児教育センターを活用して欲しい。幼児教育アドバイザーの派遣などで格差のない取組を進めるとともに、幼保小架け橋プログラムの充実を図ってまいりたい。)

**要望4:** エネルギー・物価高騰対策に関する支援の継続を要望します。(⇒国の財源で実施した事業のため、国からの財政措置があれば実施を検討する。)

**要望5:** 私立学校運営費補助金について、継続した支援を要望します。(⇒来年度についても補助単価を上げる見込みである。)



## 令和5年度 宮私幼第2回総会

令和6年2月29日(木)  
東京エレクトロンホール宮城601会議室

司会：清野英俊 総務・給付委員長

総会に先立ち、ご逝去された8名の理事長・園長先生方、また、1月1日の能登半島地震において亡くなられた方々に黙祷を捧げました。

開会のことば：庄司昭博 副理事長

理事長挨拶：鎌田文恵 理事長

来賓祝辞：宮城県私学公益法人課課長(代読：同課副参事 長田晃明 様)

◎宮城県総合教育センターとの研修事業に係る連携について

県総合教育センター次長 本田結城子 氏

◎行政報告：県私学・公益法人課主幹 熊谷祥 氏

令和5年度から継続して実施する事業や、令和5年度2月補正予算等で措置した事業、令和6年度から新たに実施する事業等について説明がありました。また、少子化に伴う対応関係については早めに県と相談して善処するように。令和7年度からの私立学校法改正については、早く着手して欲しい等のお話がありました。



[議 事]

議長：(気仙沼・登米地区) 登米幼稚園 佐々木栄悦先生、

(若林地区) ドリーム幼稚園 末屋保広先生、議事録署名：(青葉地区) ふたばバンビ幼稚園 佐藤洋先生、(大崎地区) 小鳩幼稚園 中村晶子先生

第1号議案：令和5年度一般会計収支補正予算(案)及び退職手当資金給付事業特別会計

収支補正予算(案)について、第2号議案：令和6年度事業計画(案)について、第3号議案：施行規則会費納入割当基準の改正(案)について、第4号議案：令和6年度一般会計収支予算(案)及び退職手当資金給付事業特別会計収支予算(案)について

第3号議案については、鎌田理事長と目黒理事より、改正の経緯と算定基準について、丁寧な説明がありました。いくつかの質疑応答がありましたが、全ての議案が賛成多数で承認されました。

[報告事項]

(1) 地区会運営費要綱の一部改正について

(2) 第38回(令和6年度)東北地区私立幼稚園・認定こども園教員研修大会<宮城大会>及び予算書(案)について

その他

(1) 令和7年度園児募集の日程等について：従来通りとする。

閉会のことば：根来興宣 副理事長



## 令和5年度 宮私幼教育研究発表大会

令和6年3月26日(木) 9時50分～16時  
トークネットホール仙台(仙台市民会館大ホール)

<開会行事>

(1) 開会のことば(庄司昭博副理事長)

(2) 挨拶(鎌田文恵理事長)：昨年、新型コロナウイルス感染症が5類に移行しましたが、一日でも早く、マスクなしの生活になることを願っています。人生で一番最初に出会う先生が幼稚園の先生です。生涯の土台を築く仕事に誇りと自信を持って欲しいです。

(3) 来賓祝辞(佐々木幸士宮私幼PTA連合会会長、宮城県議会議員)：園児は、一つひとつの行事を通して成長していきます。新たな課題として、支援児の補助がありますが、PTA連合会も共に力を合わせて働きかけを続けていきます。

(4) 永年勤続表彰(中新田幼稚園・なかよしこども園 鈴木小弓先生謝辞)：感謝の気持ちでいっぱいです。失敗の連続の中で、周りの皆さんに助けていただいて成長することができました。悩んだ時もありましたが、大切な人格形成の時期を受け持つ教諭として、誇りと自信を持ち、人間性を高めていきます。

<事例発表>

●第1部

①和光幼稚園(櫻井海音先生)：「多様性を持つ子ども達がともに育つ保育」

②おたまや幼稚園(佐々木千鶴先生)：「気になる子どもへの寄り添った支援や働きかけ」～保護者と共に子どもを育てる～

講評(わかさ幼稚園 八島均園長先生)：日々の実践に基く研究で、幼児期は診断名がつきにくいですが、障がいの有無に抵抗を示す親も多く、家庭との面談で、お互いの実態や園での工夫を知ってもらうことが連携の第一歩です。実態を的確に把握し、自己肯定感を高める、ほめる、認める、発達に合った環境構成や場面設定、親が特性を受け入れることが大切です。

●第2部

③いちょうの実幼稚園(中村綾先生、横山天音先生)「子どもからはじまるぬくもりコミュニケーション ～ふれあい遊びを通して～」

④幼保連携型認定こども園岩切東光第二幼稚園・ひかり保育園(小笠原愛先生、高橋七恵先生)：「幼保連携型認定こども園での幼児の育ちを考察する」

講評(福聚幼稚園 関澄子園長先生)：ぬくもりコミュニケーションは、思いを伝え合い、心身共に豊かに成長していく、実践的講習をして、バリエーション、創意工夫、遊びの楽しさが窺えました。先生方の教材研究は、抽斗を多く持つこと、全園で継続していくことが大切です。幼保連携型認定こども園での幼児の育ちについては、仏教教育に合わせた幼保交流、教諭の共通理解、未満児から幼稚園への橋渡し、また、個々の発達段階、幼稚園と保育園の生活様子の理解、生活の違いを保護者に伝達、集団生活内容と必要性の伝達が大切です。

<講演会>

演題 「すこやかな子どもを育てるために」

講師 阿部芳吉先生(元仙台市教育長、元宮城教育大学副学長他)

13年前の大震災の時、気仙沼から南相馬で勉強会を開き、全国から約4,500名の学生が参加しました。

各地の方言が行き交う中で、親を亡くした子どもたちには、ふだんと同じ言葉で話す、「故郷」の歌で会場がひとつになる、傍に誰かがいれば人の心はひとつになれることを学びました。災害時には、日頃の訓練ととっさの判断が不可欠です。また、園生活においては、事故は必ず起きる、くり返し起きることを認識しておくことが大切です。素直で純粋な子どもをありのまま受け入れ、良い環境で育てることが人格形成の上で大切です。

<閉会行事>

閉会のことば(根来興宣副理事長)

幼稚園訪問記

幼な子とともに

石巻みづほ幼稚園

〒986-0861 石巻市蛇田字新下前沼 166-1  
園児数150名 教職員16名  
(満3歳児・3歳児45名、4歳児46名、5歳児59名)

石巻みづほ幼稚園

を訪問しました!!



令和6年1月24日(水)、石巻市にある  
亀山学園石巻みづほ幼稚園を訪問しま  
した。東日本大震災で被災した第二み  
づほ幼稚園との統合を機に新築した園  
舎内で、阿部弘子園長先生にお話を伺  
いました。阿部園長先生は小学校の現  
場が長かったので、園児と触れ合う生  
活が新鮮で楽しく、「年長児がこんなにいろいろなことが  
できるとは!」と驚きだったとのこと。子育てについての  
気付きや思いを毎月おたよりとして発行しているとのこ  
とです。

1. 概要

昭和42年4月1日。個人立みづほ幼稚園として近所の青  
葉神社内に「体育園」として開園。

2年後石巻みづほ幼稚園として認可を受ける。第二幼  
稚園は昭和51年に開園したが、東日本大震災にて被災し、  
平成29年より休園中。

2. 特色

体育園として開園した経緯もあり、体を動かすことを重  
点に保育を行っています。外部講師により月3回程度体操  
教室を行ったり、園庭にトランポリンを設置し子どもたち  
が自由に遊んでいます。自由遊びの時間を多く設定し、外  
遊びを推奨。外遊びを通じて知力・体力・気力が身につく  
よう、また友達づくりを援助しています。



3. 特に力を入れている保育等

様々な経験を通し、困難な場にもたくましく挑戦できる  
知力・体力・気力をつける幼稚園を目指し、①あそびと友達  
づくり、②社会探訪、③福祉施設との交流、④安全指導、⑤  
園庭の畑から学ぶ自然観察を柱に、保育を行っています。

4. 保育時間

月曜日～金曜日 9時～13時30分

5. 預かり保育等

月曜日～金曜日

保育終了後～18時

(長期休み中も行っていきます)

6. 給食

週3回給食 2回お弁当 牛乳は毎日

7. 未就園児教室

「どんぐりクラブ」と称し、月に2～3回行っていま  
す。満3歳未満のお子さんが対象です。親子で制作活動・  
外遊び等を行っています。約1時間程度。

8. バス送迎

バス2台で運行 (63名)

9. 教育・保育目標

- ①友達を作りげんきに遊べる子ども
- ②自分の気持ちを言葉で表現し、伝え合う喜びを味わ  
える子ども
- ③自然と触れ合う中で、様々な事象に興味や関心を持  
つ子ども
- ④決まりを守り、自主自立の出来る子ども

令和6年 能登半島地震義援金の報告

各園にご協力いただき多くの義援金が宮私幼に  
寄せられました。皆様のご厚意に感謝申し上げます。  
義援金は、3月7日現在 74件 3,167,665円とな  
り、3月18日に全日本私立幼稚園連合会に預けま  
した。なお、同連合会から、集まった義援金につい  
ての報告がありましたら、追ってご報告いたします。